

第34回 北海道・カナダ姉妹都市会議

(会議次第)

(敬称略)

1. 日時 2025年11月7日(金) 13:30~18:20
2. 会場 北海学園大学国際会議場(図書館・研究資料棟6階)
札幌市豊平区旭町4丁目1番40号
*懇親会:北海学園会館食堂 1階 G'cafe
3. 予定
- (1) 開会宣言
 - (2) 開会挨拶 北海道カナダ協会 会長 堰八 義博 13:30~13:40(10分)
 - (3) ご来賓挨拶 13:40~14:00(20分)
 - (4) 会議
 - ① 第一セッション(基調講演) 14:00~15:00(60分)
演題 「カナダの多文化主義に学ぶ、日本における外国人材受け入れの未来」
講師 北海道大学公共政策大学院 教授 池 炫周 直美(ち ひょんじゅう なおみ)
 - ② 第一セッション(質疑応答) 15:00~15:30(30分)
司会 北海道教育大学 函館校 准教授 古地 順一郎
 - ~ 休憩 ~ 15:30~15:40(10分)
 - ③ 第二セッション(情報・意見交換) 15:40~16:50(70分)
司会 北海道教育大学 函館校 准教授 古地 順一郎 (当協会会員)
 - (a) 出席自治体・国際交流団体の活動状況報告
 - (b) 交流事業遂行上の懸案事項と解決に向けた取組み
 - (c) 地域づくりのための姉妹都市交流の活用と新たな展開
 - (d) 質疑応答・意見交換
4. 懇親会 会費 4,000 円 / 北海学園会館食堂 1階 G'cafe 17:20~18:20(60分)



北海道カナダ協会

～講師ご略歴ならびにご講演概要～

池 炫周 直美

Hyunjoo Naomi Chi / ち・ひょんじゅう・なおみ
北海道大学公共政策大学院 教授

【略歴】

1997 年 カナダ・ブリティッシュコロンビア大卒業
2006 年 北大大学院法学研究科博士課程修了、博士（法学）
2006 年 同大学院 助教
2009 年 同大学スラブ・ユーラシア研究センター 特任助教
2011 年 同大学公共政策大学院 専任講師
2022 年 同大学公共政策大学院 准教授
2024 年 同大学公共政策大学院 教授

【演題】

「カナダの多文化主義に学ぶ、日本における外国人材受け入れの未来」

Proposed Title: Learning from Canadian Multiculturalism: The Future of Foreign Talent Acceptance in Japan

【概要】

講演では、長年多文化主義を推進してきたカナダの経験に焦点を当て、日本が今後外国人材の受け入れを進める上で、カナダの多文化主義から何を学び、どのように応用できるかについて考察します。具体的な事例を交えながら、多文化共生社会の実現に向けた課題と可能性を議論します。

Proposed Abstract:

This lecture will focus on Canada's long-standing experience in promoting multiculturalism and will explore what lessons Japan can learn from Canadian multiculturalism and how it can be applied to Japan. The presentation will touch upon the challenges and possibilities for realizing a multicultural society.

～司会者ご略歴～

古地 順一郎

北海道教育大学教育学部函館校 国際地域学科
地域協働専攻 地域政策グループ
准教授



【略歴】

1999 年，早稲田大学大学院政治学研究科修士号を取得。カナダ政治，ケベック政治をさらに研究するためカナダに渡る。モントリオールのマギル大学大学院で修士号（政治学），オタワのオタワ大学大学院で博士号（政治学・カナダ研究）を取得。

2010 年 9 月から半年間，モントリオール市開発・運営部社会多様性課（当時）調査官。青少年政策の評価に携わる。その後，コンサルタントとして同市の青少年健全育成プログラムの総括文書作成を担当。2012 年 2 月から 2014 年 2 月まで外務省在カナダ日本国大使館政務班専門調査員。2014 年 4 月から北海道教育大学教育学部函館校国際地域学科講師。2016 年 4 月から現職。学外では，日本カナダ学会理事，北海道総合開発委員会参与，江差町総合計画等検証委員会副委員長，一般社団法人 SOGIE 相談・社会福祉全国協議会監事などを務めている。

専門は，カナダ政治，ケベック政治，移民・多文化共生政策。近年はカナダと日本の地方における移民受け入れに関する研究を実施。学生や地域住民とともに多様性を軸とした地域づくりにも取り組んでいる。

【主要業績】

日本ケベック学会編（2023）『ケベックを知るための 56 章【第 2 版】』明石書店（共著）
第 13 章「移民受け入れーフランス語系社会の持続的発展に向けて」（103-107 頁），
第 19 章「ケベック州政治のしくみー“ケベック国家”の営み」（132-135 頁），
第 27 章「国際社会のなかのケベックー国際主体としてのケベック」（175-179 頁）
徳田剛ほか編著（2023）『地方発 多文化共生のしくみづくり』晃洋書房（共著）
第 19 章「移民を地方へーカナダの『移民政策』の動向ー」（226-235 頁），
第 20 章「カナダの小都市圏におけるニューカマーのための直接的・間接的支援サービスへのサポート」（共訳， 236-254 頁）
ジャック・ラクルシエール著 小倉和子・小松祐子・古地順一郎・伊達聖伸・矢内琴江訳（2023）『ケベックの歴史』水声社。